

【住民参加企画】

まちのこえ

～広報広聴委員が聞く～



～平成元年から続く「ふるさと館まつり」の会場で～

郷土資料を展示保管する「幕別町ふるさと館」で9月17日、「ふるさと館まつり」が開かれました。運営を支える事業委員や、同館を拠点に体験学習をしているジュニアスクールのメンバーにお話を伺いました。

この日は約90人が参加。薪ストーブ上でもち米を蒸し臼と杵で餅つきをしたり、小麦粉やバターで練ったタネを焼いてせんべいにしたり、ソバの実を石臼で粉にしたりするなど、先人たちの道具が大活躍。また、子供も大人も竹馬や輪回しの遊びに挑戦し、昔の暮らしに思いをはせていました。

ジュニアスクール生の井上朋香さん（札内南小5）は、「せんべい焼き機にタネを入れると、すぐに広がってせんべいになってびっくりしました」と話し、横田雪乃さん（幕別小5）は、「今では機械で簡単にできることでも、時間をかけてやっていたんだと知りました。この経験を役立てたい」と興味津々の様子。



また、橋本猛夫事業委員長は、「子供たちには、こうした体験や自然学習を通じ、ふるさとの姿を目に焼き付けてほしい。大人になって環境が変化しても順応できるたくましさを身につけてほしいと願っています。事業委員になって26年。嬉しかったのは、大きくなった子供から街で『あっ、バードウォッチングの先生』と声をかけられたこと。」と語られました。

～あとがき～

同館は開館して来年で40年。これまで運営に関わってこられた事業委員やスタッフの方たちに敬意を表したいと思います。郷土の財産が詰まっているふるさと館ですが、今後もより活用されることを願っています。（聞き手 若山和幸 内山美穂子）

編集後記

昨年の度重なる台風による災害が癒えぬ間に、再来した台風18号、各地に大きな災害をもたらしました。改めて自然の脅威を感じます。被害に見舞われた方々に心よりお見舞いを申し上げます。

議会といたしましても、自然災害に対応し、安心・安全確保のもと、皆さんが安心して暮らせるまちを目指し、今後の10年の指針となる第6期総合計画策定に向け鋭意努力してまいります。

寺林俊幸

議会広報広聴委員会

委員長 小島智恵 副委員長 寺林俊幸

委員 荒 貴賀 小田新紀 内山美穂子 若山和幸

小川純文 野原恵子 谷口和弥

議会を傍聴して

札内北町 中野 義明

9月5日に行われた町議会の

一般質問を傍聴しました。

私にとっては何度目の傍聴だ

ろうか…。議会だよりや広報

紙から、町の動きやニュース

はある程度理解できるのです

が、議会では、議員と理事者

はどのようなやり取りが行われているのか…。議員は

質問をするためにどれだけ勉強をし、下調べ等をして

いるのか。理事者側も質問に対し、きちんと答えて

いるのか。紙面で見るとは違い、生の声が聞けて

大変良かったと思います。今回一緒に行った友達も

初めてではあったのですが、来て良かったと。また

次回の一般質問も、ぜひ傍聴したいと思います。



〇お知らせ

図書館で会議録の閲覧ができますので、ご利用ください。